

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 4 回 CCC 国際関係学グループ運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 21 年 11 月 10 日 午後 4 時～6 時
II. 場 所：社団法人私立大学情報教育協会事務局会議室
III. 出 席 者：多賀委員、林委員、大崎委員
事務局：井端事務局長、山野上

議事概要

前回までに委員会で検討した国際関係学の学士力について、サイバーFD 研究員の意見を反映させた検討を行ない以下の(案)を結滞した。

国際関係学教育における学士力(案)

【到達目標】

1. 国家、地域、国際組織などで構成される近現代の国際関係の基本的なしくみとその背景を理解できる。

【コアカリキュラムのイメージ】

国際関係論、外交史、国際政治、国際法、国際経済など

【到達度】

- ① 近現代の国際社会におけるさまざまな行為主体の概念と定義を理解している
- ② 近代以降における基本的な国際関係の事実を理解している
- ③ 国際政治・経済・社会・法における基本的原理を理解している

【到達度の測定方法】

- ①と②は、択一式の筆記試験などにより確認する
- ③は、論述式の筆記試験などにより確認する

【到達目標】

2. 国際的な課題などについて、国家、地域、国際社会の観点から調査し、多元的価値・複合的な視点から分析できる。

【コアカリキュラムのイメージ】

国際社会論、国際組織論、国際開発論、地域研究、比較文化論、国益・安全保障論、ナショナリズム、平和論、ゲーム理論など

【到達度】

- ① 国際的問題あるいは課題の発見、把握のために適切な文献検索・資料を収集・整理できる
- ② 正確な情報にもとづいて科学的・客観的な手法で分析できる
- ③ 多元的な価値に配慮し、理論の比較などによる複合的な視点に立って、考察・評価できる

【到達度の測定方法】

- ①と②は、文献研究、フィールドワーク、情報処理の理解度について、小論文(レポート)により確認する。
- ③は、ワークショップ、グループ討論、プレゼンテーションなどにより確認する。

【到達目標】

3. 国際社会と国家、地域、個人との関係を認識し、地球的規模で人類共通の問題解決に向け、支え合う態度を身につける。

【コアカリキュラムのイメージ】

地球環境論、国際開発論、紛争解決論、平和構築論、異文化交流論、少人数演習(ゼミ)、フィールド・スタディーなど

【到達度】

- ① 地球的問題群に対して、社会正義に基づく国際平和の価値を理解できる
- ② 具体的な課題に対する政策提言ができる
- ③ 政策提言を踏まえて議論し、自己修正できる

【到達度の測定方法】

①から③は、論述式を含む筆記試験、小論文(レポート)、グループ討論、ロールプレイングによるシミュレーション、卒業論文、卒論報告会、合評会などにより確認する。

以上